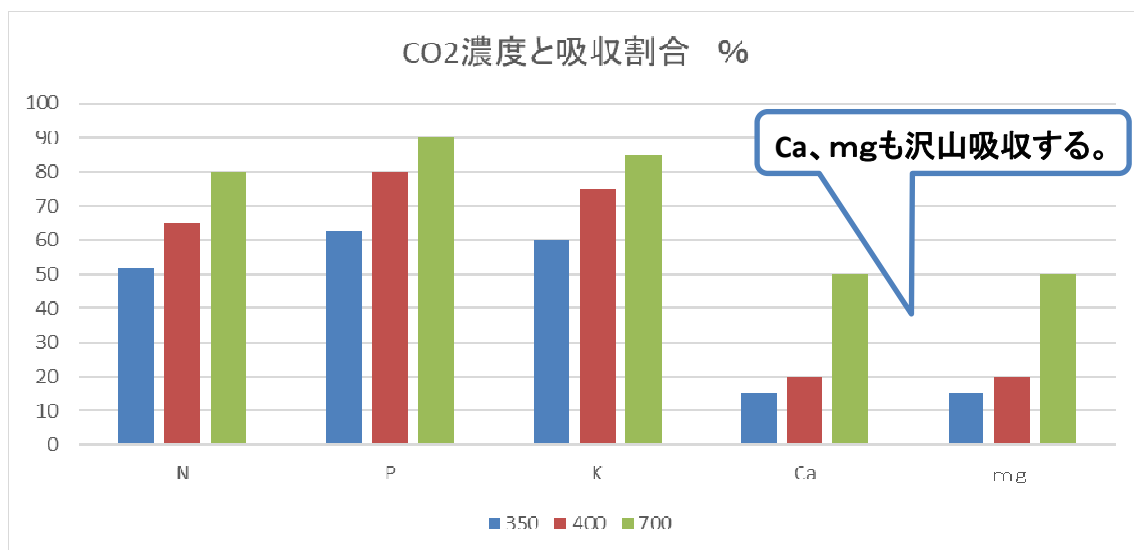


「CO₂焚き」での効果的な追肥について

R4.10
アグリ技研(株)

CO₂施用濃度に応じた養分吸収割合

品種:ゆめのか



CO₂施用時の追肥について

- ①基本的には、水や追肥(N・P・K)は2～3割を増す。
- ②グラフの様に、カルシウム・マグネシウムについては定期的に施用する。
- ③生育展開も良くなり根域も充実するので、発根剤や改良剤は臨機的に使用する。

効果的追肥について(NO.1)

①収穫開始期～厳寒期

- (1)ウルル5号、ウルル18号、カリっとにて肥大促進を図る。
- (2)コラーゲン・ラボで厳寒期の草勢維持や品質向上を図る。
- (3)アミクエ、フシヨクフルで根域の充実を図る。
- (4)クドグリーンで光合成の活性を図る。
- (5)カル元気・有機カルトップで芯葉や果実の品質向上を図る。

②春先～収穫後半

- (1)ウルル2号、PKゴーで生育調整を図る。
- (2)ウルル18号で肥大促進を図る。
- (3)アミクエ、フシヨクフルで根域の充実を図る。

効果的追肥について(NO.2)

・液肥を灌水する場合に、フシヨクフルを混用する。【効果】吸収力アップと通気性等改善

【例】ウルル5号を7kgにフシヨクフル3kg混用処理

【例】アミクエ10kgにフシヨクフル2kg混用処理